

2026年6月17日

サンスター、鈴鹿 8 耐参戦車両に 3 年連続採用 進化した環境負荷低減型ブレーキディスクとパッドを提供

サンスターグループ(以下サンスター)は、2026年7月3日(金)~7月5日(日)に開催される「2026 FIM*世界耐久選手権 “コカ・コーラ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 47 回大会(鈴鹿 8 耐)」のエキスペリメンタルクラスに参戦する「チームスズキ CN チャレンジ(参戦車両:スズキ GSX-R1000R)」へ、製造過程での環境負荷を低減したブレーキディスクおよびブレーキパッドを提供します。3年連続の採用で、本年はブレーキパッドをさらに改良し、昨年モデルを上回る制動性能と優れたコントロール性を両立しています。



サンスターのローダストブレーキパッドと熱処理廃止鉄製ブレーキディスク

チームスズキ CN チャレンジ GSX-R 1000 R

「チームスズキ CN チャレンジ」は、スズキ株式会社(以下スズキ)が「カーボンニュートラル(CN)など環境負荷低減への挑戦」をテーマに、鈴鹿 8 耐でのレース完走を目指して様々な課題を克服しながら、環境性能技術向上につなげていく取り組みです。バイオ由来原料を配合したサステナブル燃料をはじめ、環境性能技術により開発されたタイヤ、オイル、カウル、ブレーキなどの部品を投入した二輪車で 2024 年からレースに参戦しています。

サンスターは、スズキからの協業提案に賛同し、パートナー企業の 1 社として、ディスク製造工程での熱処理を廃止するという革新的な技術の導入などにより環境性能と制動性能を両立させたブレーキディスクとブレーキパッドを提供しております。単年の取り組みにとどまらず継続的に性能検証と改良を重ねており、今年では従来製品と遜色ないレベルまでブレーキの効きとコントロール性を高め、3年連続の採用となりました。

サンスターは、グループ全体でカーボンニュートラル(CO₂排出実質ゼロ)、サーキュラーエコノミー(資源循環型経済)実現への貢献を目指した環境中長期目標を掲げ、製品開発や事業活動を含む全般において環境負荷低減への取り組みを進めております。本取り組みは、レース向け部材の提供にとどまらず、将来的な量産製品開発への応用も見据えた技術開発の一環と位置付けており、一般車両向け製品の開発を目指し継続的に取り組んでまいります。

* FIM: 国際モーターサイクリズム連盟

【環境対応レース専用ブレーキディスク／ブレーキパッドについて】

＜環境対応レース専用ブレーキディスクの特長＞

- ・ブレーキディスクの熱処理工程を廃止することで製造時のCO₂排出量を約50%削減
- ・摺動部にはディンプル小孔(くぼみ形状)を採用し、パッドクリーニング効果とクラック耐久性の性能を両立

＜環境対応レース専用ブレーキパッドの特長＞

- ・ディスクの熱処理工程廃止に伴い、専用ブレーキパッドを開発
- ・ブレーキの効きやコントロール性は従来製品と同等を維持しながら、約15%の摩耗量削減(低ダスト化)

◆サンスターのオートバイ用ブレーキディスクについて

サンスターは、1961年にオートバイ向けディスク部品事業に参入、二輪メーカー各社にOEM部品としてブレーキディスク、スプロケット(歯車部品)を納入しており、トップクラスのシェアを獲得しています。レース専用ブレーキディスクの開発、提供も行っており、世界最高峰の様々な二輪レースのトップチームに採用され、勝利に貢献しています。1993年からは市販向けのカスタム部品も販売開始、国内外オートバイメーカー12社の対応製品をラインナップしています。レース用ブレーキディスク「Type-OMEGA(タイプオメガ)」の設計思想を取り入れた「ワークスエキスパンド」シリーズが二輪レースマニアなどに人気です。

◇サンスターの二輪レースサポート <https://www.sunstar-engineering.com/ja/drive/racing>

◇サンスターの市販向けブレーキディスク <https://www.sunstar-kc.jp/product-information/discrotor/>

【サンスターグループについて】

サンスターグループは、持株会社サンスターSA(スイス・エトワ)を中心に、オーラルケア、健康食品、化粧品など消費者向けの製品・サービスをグローバルに統括するサンスター・スイス SA(スイス)と、自動車や建築向けの接着剤・シーリング材、オートバイや自動車向け金属加工部品などの産業向け製品・サービスをグローバルに統括するサンスター・シンガポール Pte.Ltd.(シンガポール)を中核会社とする企業グループです。

◆サンスターの起源と事業の広がり

サンスターは、1932年に自転車部品やパンク修理用のゴム糊の卸売業で創業。その後、ゴム糊の金属チューブ容器の製造設備を活用して、粉ハミガキが主流だった時代に練ハミガキ剤を発売したことを起点に、オーラルケア、化粧品、健康食品などの消費財事業へと展開しました。一方、自転車用部品やゴム糊の事業は、より市場成長が見込めると考えた二輪車・自動車用金属部品や自動車・建築・電子機器用接着剤・シーリング材などの事業にシフトし生産財事業へと発展させています。

◆サンスターのサステナビリティ活動について <https://www.sunstar.com/jp/sustainability/>

＜この件に関するマスコミからのお問い合わせ先＞

サンスターグループ コーポレートコミュニケーション室

MAIL: sunstarpr@sunstar.com